

あなたに薦める『この一冊』2月

『読書する人だけがたどり着ける場所』

齋藤孝〔著〕 SBクリエイティブ

社会教諭 大川 慎吾

中学 1年4組 副担任



読書する人
だけが
たどり着ける場所



齋藤孝
Takashi Saito

10万部突破!

本物の教養は、
読書で身につく

「知識」「思考力」「認識力」が深まる本の読み方



「人に何かを伝えるって本当にむずかしい!!」

同じことを思っている人もたくさんいることでしょう。

僕に関して言うと、たった25年しか生きてないし、たかが経験してきたことなんかしている。でも、この職に就いている以上、いや、この世に生まれた以上、人に何かを伝えるという行為は必要不可欠。たとえそれが実際に顔を見なくてもいいSNSだとしても。

人に何かを伝えるにあたって自分がどんなことを経験し、学んだかはとても大事。しかし、僕も含めてですが多くの人は20代前半には社会に出ていく。そこで自分よりはるかに年齢を重ねている人であつたり、逆に年下の人とも対等に言葉を交わさなければならぬこともある。このような社会で戦うためにはどうすればよいか。

読書をしましょう。

読書は故人も含めて他人(偉人)の人生経験に触れることができる最高の手段です。(しかも低コスト(笑))

僕が今回みんなにお勧めするこの本は読書の魅力をたくさん示してくれています。

読書を通じて、人生経験を深め、学び、成長しましょう。(僕もふくめて)

さて、いつか『読書する人だけがたどり着ける場所』にたどり着けるように今日も本を開きますか。

☆著者『齋藤孝(サイトウ タカシ)』豆知識☆

1960年、静岡生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学大学院教育学研究科学校教育学専攻博士課程等を経て現職(明治大学文学部教授)。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論。著者webサイト「齋藤孝のホームページ」内『齋藤孝 について』より

その他本学図書館所蔵齋藤孝作品の紹介

- ・ 声に出して読みたい日本語 草思社



かつて暗誦することは言語感覚を養い、心と身体を鍛える訓練法のひとつだった。忘れられつつある伝統的暗誦文化の復活を説く簡便で洒落た文章集成。シリーズ累計260万部突破、日本語・朗読ブームを作った国民的ベストセラー。

- ・ 本当の「頭のよさ」ってなんだろう? 誠文堂新光社

「頭がいい」とは脳の「状態」なのです。頭のはたらきのいい状態のときは、目の前の問題が簡単に解決できるし、未来を楽しく創り出していくことができる。すっきりと気分もいい。そんな状態のときをどんどん増やしていくにはどうしたらいいかを解説します。



- ・ 声に出して読みたい小中学生にもわかる日本国憲法 岩崎書店



「日本人全員が憲法の関係者だ」と齋藤先生。若者に知ってほしい憲法をセレクトし、条文をフリップとイラストでわかりやすく解説。憲法の力を実感できる本。

- ・ 学校では教えてくれない日本語の授業 PHPエディターズ・グループ

私たち日本人の様々な感情は、ほとんど日本語によってできているのに、その日本語のすごさや奥行きといったものを、日本人は実はまだまだ知らない。大ベストセラー『声に出して読みたい日本語』の著者が、素読・暗誦の絶大効果、大和言葉の力、和歌の素晴らしさ、方言の魅力など、「日本語のこと」をやさしく、深く、面白く語り尽くす!



★大川 慎吾(オオカワ シンゴ)先生の紹介★

- * 担当科目・クラス
社会(中1年1組~4組)
世界史A(高1年1組)
- * 星座→さそり座
- * 趣味→筋トレ、ランニング、読書、ドライブ
- * 自分の中学・高校生活
中学時代は野球と勉強の両立、高校は受験勉強一筋でした。
- * 本校生の印象
元気なあいさつができる生徒が多いと思います。
- * 読むことが望ましい本
『現代語訳論語と算盤』 渋沢栄一【著】 筑摩書房

- ・ 声に出して読む渋沢栄一「論語と算盤」 悟空出版



新一万円札の顔として話題の渋沢栄一の名著を、齋藤孝が読み解く! 『論語と算盤』の原文から音読向きの言葉を選び取り、それを現代に引き寄せて丁寧に解説。1項目4ページ、スーッと頭に入る。生きるための判断基準を渋沢にすれば、間違いなし!

- ・ 折れない心の作り方 文藝春秋

あっちでもポキッ、こっちでもポキッ! 会社でも学校でもちょっとした一言で一気にくじけてしまう人が跡を絶ちません。折れない心を作るためには、自己肯定力を強くする必要があります。黒澤明や折口信夫の例をあげながら、齋藤孝先生が説いてくれます。



その他、たくさん所蔵しています

編集後記: 「個人情報に大事な時代ですが、やはり人に親しみを持たれる自己開示はある程度必要だと思います」、「自分に関する情報を全然自分から語らないのは、相手に『心の垣根』を感じさせてしまうものです」……今回紹介した本の著者齋藤孝は、このように言っています。「でも、何を語ればいいのか?」、そう悩んだときにも、今回紹介した本がきっと役に立ってくれますよ!